

第19回日本スカウトジャンボリー開催概要と 参加予定申込の実施について



一般社団法人日本ボーイスカウト神奈川連盟

2025年8月23日

大会概要

名称 第19回日本スカウトジャンボリー（19NSJ）

テーマ「**挑戦 ～神石から未来への一歩～**」

スカウト一人ひとりがジャンボリーを通じて、未来に向かって力強く歩みを進めるような新たな挑戦をしてほしいという願いが込められています。豊かな自然に囲まれた神石高原で、全国から集まる仲間たちと共に、さまざまな活動や交流を行い、それぞれの未来を切り拓けるよう、新たな一歩を踏み出しましょう！

会期 2026年8月4日（火）～10日（月） 6泊7日

会場 広島県神石郡神石高原（じんせきこうげん）

仙養ヶ原に広がるキャンプ場を含むテーマパーク「神石高原ティアガルテン」と隣接するゴルフ場「カントリーパーク仙養」とその周辺を会場とする。

北緯34度74分41秒・東経133度31分87秒 海拔 平均700m

参加費

参加費は日本連盟参加費＋神奈川連盟派遣費＋地区事前訓練費から構成されます。

日本連盟参加費	60000円	大会期間中の食費、プログラム費、運営費など ※途中交代参加者は40000円
神奈川連盟派遣費	78000円	往復の交通費、資材運搬、県連支給品（チーフ、キャップ）
地区事前訓練費	所属地区にて決定	派遣隊の事前訓練(2026/1～)、結隊式/解隊式などの費用

	日本連盟 参加費	神奈川連盟 派遣費	地区 事前訓練費
大会本部員（専門部会員）	○	別途	－
大会奉仕スタッフ	○	別途	－
県連派遣団本部員	○	○	－
派遣隊	○	○	○

見学参加については、後日案内となります。



広島県・神石郡

じんせきこうげんちょう

神石高原町

— 人と自然が輝く 高原のまち —

<https://www.jinsekigun.jp/>

過去5年間の8月の気候
平均気温24.2度
(最低20.0度、最高29.7度)



魚切溪谷の滝



紙ヒコーキ・タワー



こしはやくしん

神石牛しん

トマトしん

ピオーネしん

観光協会のマスコット・キャラクター「神石高原 四仙人衆」

雲海と夕焼け

神石高原町・神石高原町観光協会ホームページより

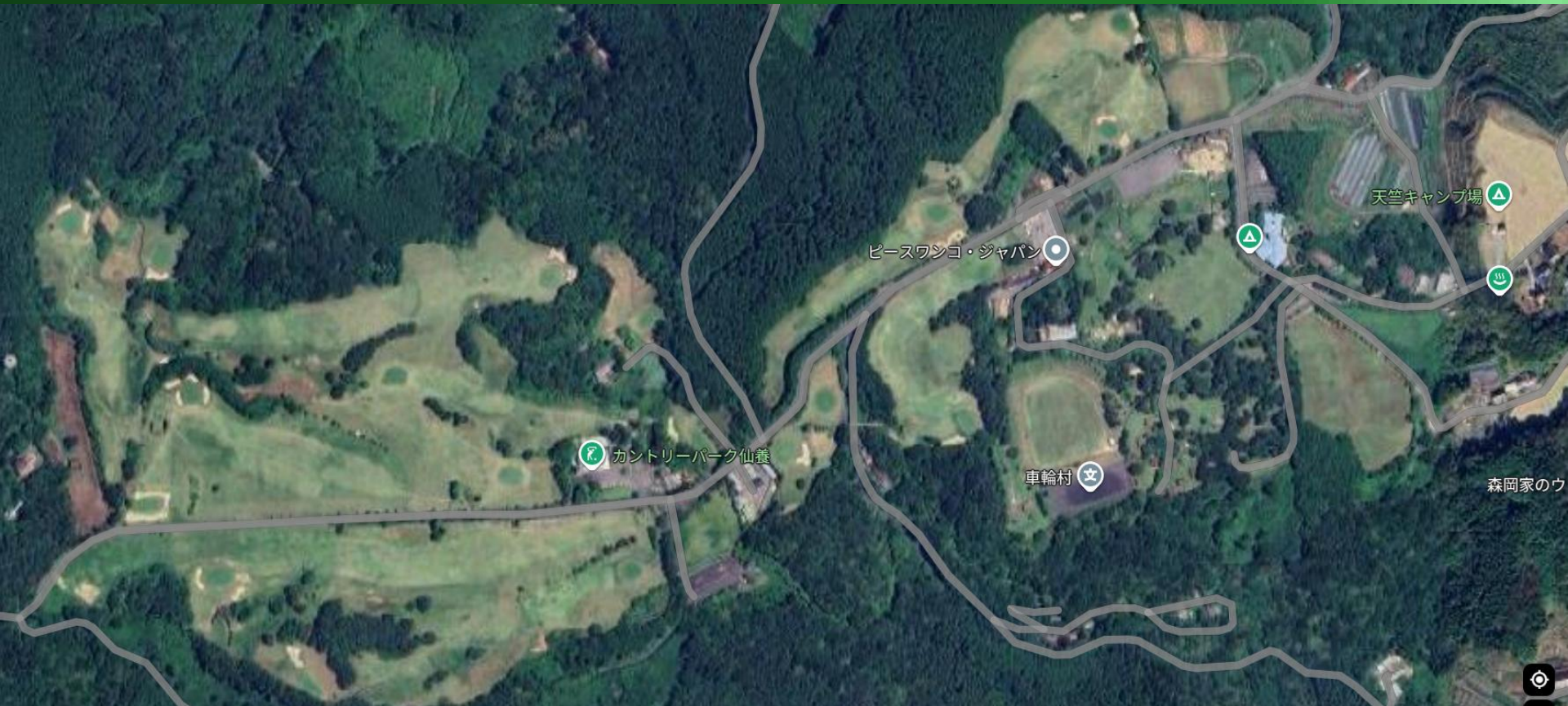


特産品ピオーネ

開催場所



会場全景



会場全景



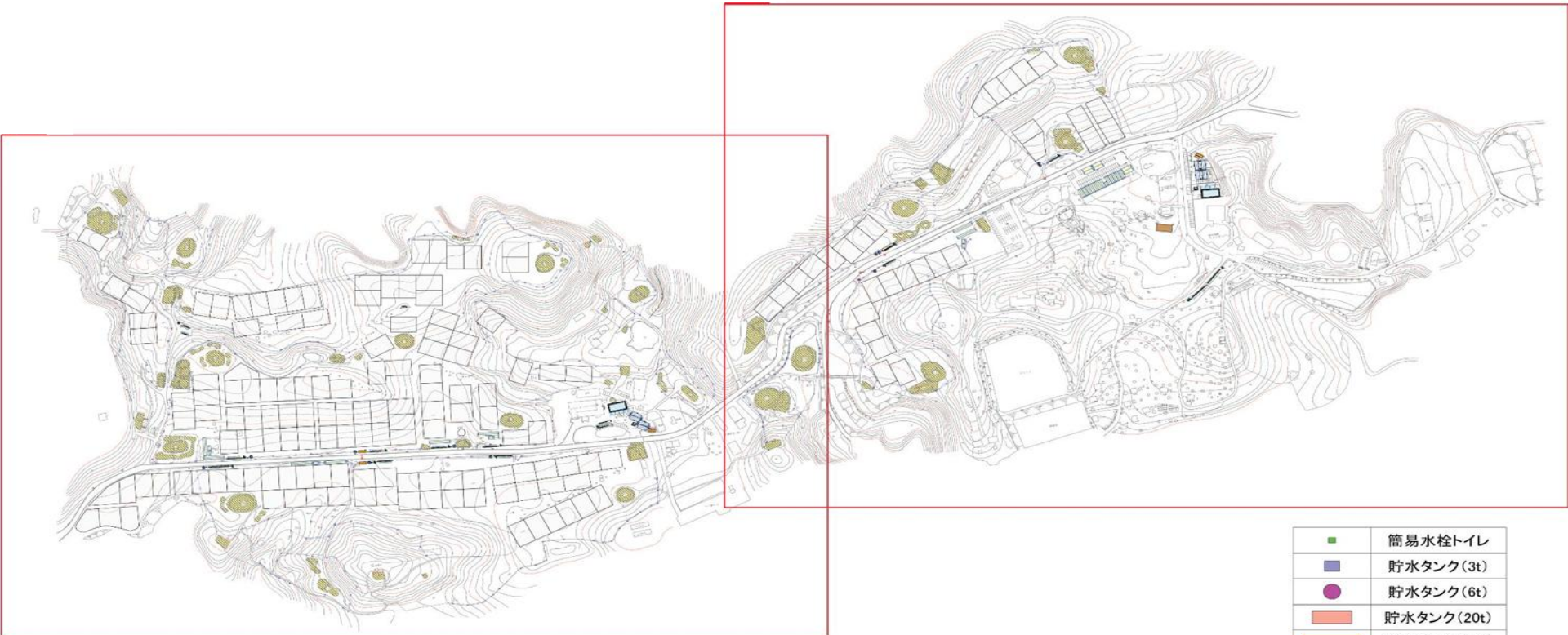
小屋 自販機 雷退避小屋 トイレ 公道

OUTコース



INコース

会場地図



■	簡易水栓トイレ
■	貯水タンク(3t)
●	貯水タンク(6t)
■	貯水タンク(20t)
■	貯水タンク(40t)
●	水汲み場
■	水捨て場
★	メーター設置箇所 (想定)

会場写真 (広島県連19NSJプレ大会より)



スタッフサイト



Bサイト



Dサイト



Aサイト

会場写真 (広島県連19NSJプレ大会より)



スタッフサイト



アリーナ



Cサイト



だるまストーブ
石膏ボード
ブロック
※毎日場所移動

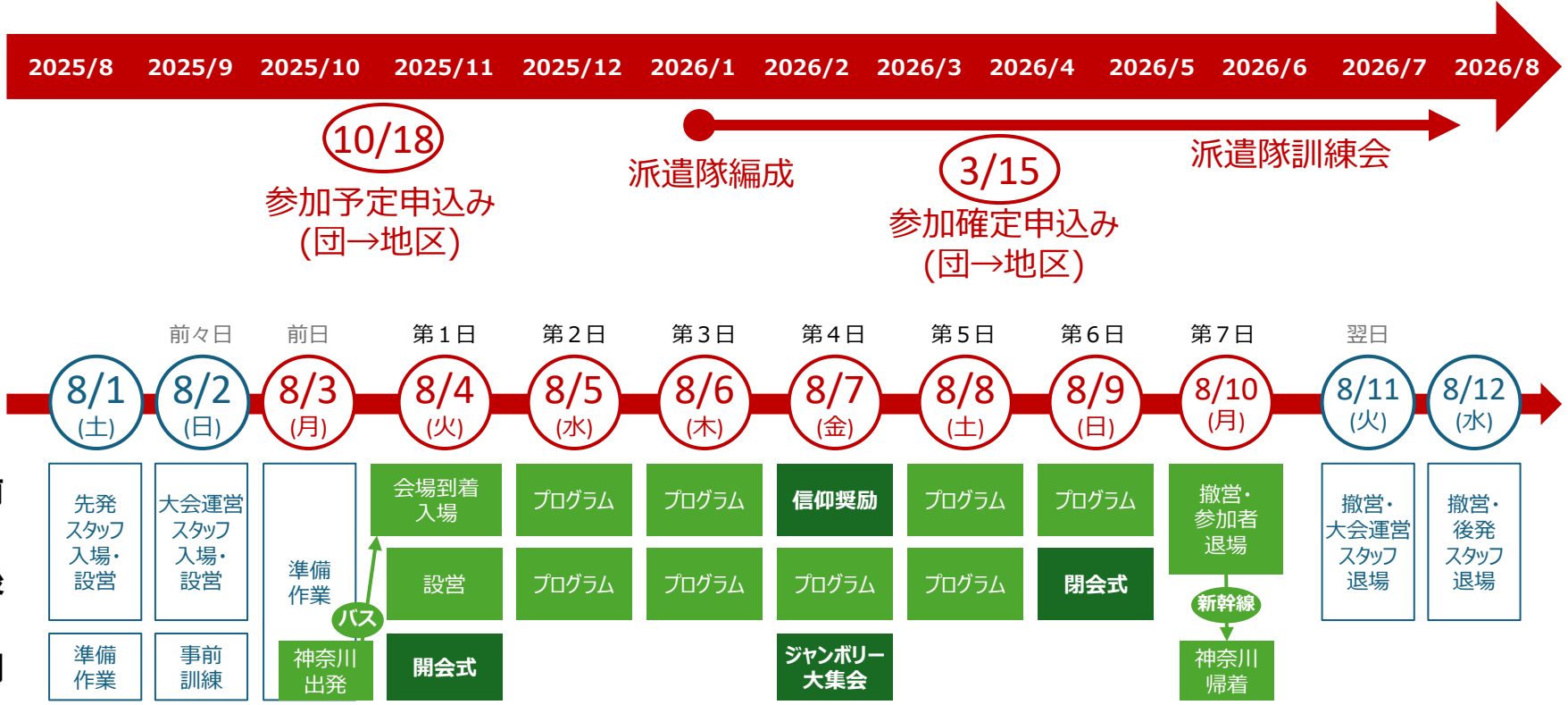


プログラムエリア



各サイト(ラフ)

スケジュール



スナップ(17NSJより)



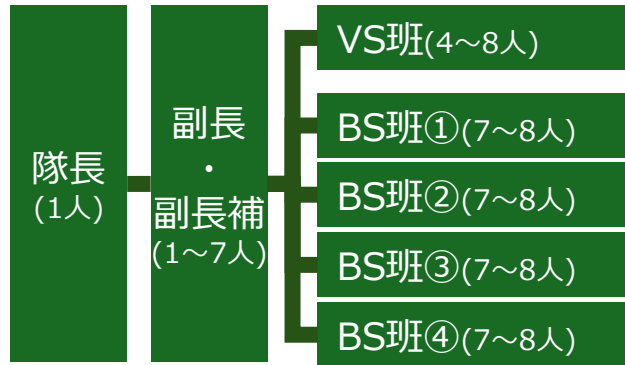
人と地球に
よりよい未来を

ジャンボリーの生活と活動



そなえよつねに
ボーイスカウト

派遣隊の編成



VS班 1 ご班(4~8人)、BS班 4 ご班(28~32人)

スカウトの参加資格：8/4~8/10(6泊7日)のキャンプ生活に十分に耐えうる健康とキャンプ技能を有することを自隊の隊長に認められること

- VS班にも引率指導者を配置すること
ベンチャースカウトをBS班の引率指導者にすることはNG
- 参加スカウトに女性が含まれる場合は、指導者のうち、少なくとも1名は女性とする
- 副長と副長補については、2人1組による交代参加が可能です。隊長、スカウトの途中交代は認められません

隊指導者の資格

隊長 1 名	20歳以上で隊指導者基礎訓練課程BS or VS履修済。ただし25歳以上が望ましい
副長・副長補 1 ~ 7 名	
副長	：20歳以上で導入基礎課程の訓練を修了した者。但し、隊指導者基礎訓練課程の修了者が望ましい
副長補	：18歳以上で導入基礎課程の訓練を修了した者が望ましい
上級班長	ベンチャースカウトの中から、指導力を有する1級スカウト章以上の技能のある者であり、班長・次長として6か月以上の経験を有することが望ましい(人数はVS班に含む)

ジャンボリー活動

ジャンボリー活動は、大会期間を中心にその前後のすべての活動を含む、一連のまとまりのあるプログラムである。それには、参加の動機付、準備訓練、大会期間中のキャンプ生活、大会プログラムへの参加、参加者同士の交流、帰宅後の評価と報告までのすべてが含まれます。

大会のプログラムは、今後の日本スカウトジャンボリーにも継承される内容となるよう次の点に留意しながら企画し、すべての参加者の成長を助けるよう身体的、精神的、知的、情緒的な発達と社会性を育むことを目標に、それぞれをバランス良く配分して提供されます。

- 進級課目と関連させて、進級の目標が持てるプログラム
- ボーイスカウトおよびベンチャースカウト部門の活動の特色を発揮できるプログラム
- ジャンボリーに向けて準備を進めることで、隊活動が活性化されるプログラム
- 野外活動を基本に、体験活動や体力を使うダイナミックなプログラム
- 班（小グループ）活動を活用して展開できるプログラム
- 開催地の特色や周囲の環境を活かした、魅力あるプログラム。
- 関係組織や諸団体の協力を得て、多様で専門性のあるプログラム

また、大会プログラムの運営と実施については、次の点に留意して検討されています。

- 魅力的な活動を安全な環境のもとで実施する。
- 開催地の自然環境を活かしながら、大会による影響を最小限に止めた設備とする。
- 廃棄物の発生を最小限にするとともに、資源やエネルギーの節約、再使用、再生利用等に配慮する。

プログラム

隊サイトでの野営生活の実践や、サブキャンプでの展開、場内外で行われる各種プログラムに参加することにより、すべての参加者が体験する。

- ① **競技的プログラム** 進級課目と関連させた班や個人の対抗競技により、一つ上の進級を目指すとともに、班のチームワークを高める。
- ② **チャレンジプログラム** 会場の広さや参加人数を体験できる大会の規模を活用したプログラムで、スカウトのチャレンジ精神を高揚させる。
- ③ **知的・体験プログラム** 場内外で陸・海・空の自然、科学、伝統・文化を基本としたテーマで、体験活動を取り入れたプログラムを展開し、スカウト活動の魅力を体感したり、将来の進路選択に向けたキャリア形成を促したりできる。
- ④ **信仰・奉仕活動** 宗教行事への参加や、隊や班におけるスカウトOWN・サービスを通じ、「ちかい」と「おきて」の実践や、平和や恵みについて考え、スカウトとして行動を起こす。
- ⑤ **野営生活** 隊や班サイトの設営・撤営、日々の生活（野外炊事等）を行うことにより、野営生活に必要な「衣食住」の技術を定着させ、リーダーシップ、チームワーク、フォロワーシップを育成する。
- ⑥ **交流プログラム** 隊や住んでいる地域の紹介をP D C Aサイクルにより実践し、隊や班同士の交流を促す。

全体行事

- ① **開会式**
参加者が大会の開会を祝い、本大会の趣旨を確認する。
- ② **ジャンボリー大集会**
異なる文化・信条を持つ参加者同士が、参加する国や地域などによる特色ある演技等の鑑賞をとおして、世界に広がるスカウト運動を体感し、団結する。
- ③ **閉会式**
ジャンボリー会場で過ごした時間を振り返り、大会に関わる人・物・環境について感謝の心を持つ。そして、大会で出会った仲間との再会を約束するなど、ジャンボリーで学んだことへの実践を誓う。

ジャンボリーアワード

参加スカウトがキャンプ生活を含む期間中の諸活動に積極的に取り組めるよう、参加スカウトを対象としたアワードを設ける。

プログラム

場外プログラムについて

全参加者が1回場外プログラムに参加するよう計画しています。

また、場内外のプログラムにて平和に関するプログラムを取り入れるよう計画しています。広島市内での見学については人数に限りがありますが、神石高原町内・福山市内でも平和や人権に関連するものがあり、見学ができるプログラム提供を検討しています。

ベンチャースカウト向けのプログラムについて

大山(鳥取)やしまなみ海道などを想定とした1泊プロジェクトを検討中

ボーイスカウトとの共通プログラムは想定していません。

ベンチャースカウト独自のプログラムは、場外での活動を用意する予定です。

ベンチャースカウトのプロジェクト形式での実施となりますので、事前に所属団のベンチャー隊長が承認した計画書の提出をお願いすることになりますが、計画書の作成に際して必要な情報は事前に共有します。

その他に、大会運営のための奉仕活動については、例として朝・夕の国旗掲揚・降納が挙げられます。

派遣隊の移動に関して

往路：貸切バス

- 往路は8/3夜発とし、県下各地より派遣隊ごとに貸切バス1台で出発します。
- 上記バスには大会運営スタッフも同乗します。
- 東名高速、山陰自動車道を経由して、途中時間を調整しながら、8/4午前中に会場入りの予定
- 8/4朝食、昼食は弁当支給
- 出発場所の調整は2026年4月頃を予定

復路：新幹線

- 復路は8/10昼発とし、新幹線を経由して21時頃に小田原駅・新横浜駅に帰着予定
- 神奈川の派遣隊すべてが同じ新幹線に乗車する訳ではありません。
- 派遣隊ごとに小田原駅、新横浜駅いずれかの利用を事前に調査します。隊内で両駅を利用することは不可です。
- 新幹線乗車前に入浴(汗を流す程度)を計画中
- 8/10昼食、夕食は食事・弁当支給
- 小学生スカウトであっても神奈川連盟派遣費は大人と同額となります。

生活に関して

生活地域（サブキャンプと呼びます）

- ・ 会場内にサブキャンプA～Dの4か所のサブキャンプが開設される。
- ・ 神奈川の派遣隊はサブキャンプA～Dに分散される。
- ・ ゴルフコース内に1区画あたり600㎡を基準に割り当て
- ・ 炊事用燃料は薪。
- ・ 飲料水は1人あたり6ℓ/1日
- ・ 夜/朝は長袖着用が必要となる気温まで下がる。シュラフに入ってぐっすり眠れる。
- ・ 蚊はほとんどいない

〈基本日課〉

起床	6：00	夕食	18：00
朝食	7：00	国旗降納	18：30
国旗掲揚	8：30	夜間の活動	19：30～21：00
午前の活動	9：00～12：00	就寝	21：00
昼食・休憩	12：00～13：30	消灯	22：00
午後の活動	13：30～16：30		

人と地球に
よりよい未来を

保護者向け

スカウトジャンボリーの説明



そなえよつねに
ボーイスカウト

日本連盟からの情報発信について

日本連盟より9月上旬に以下のコンテンツがそれぞれ配信予定

- ① 保護者向けジャンボリー説明ビデオ
- ② 19NSJホームページの開設
- ③ ジャンボリーインフォメーション(第1号)



19th NIPPON SCOUT JAMBOREE INFORMATION

ジャンボリー
インフォメーション
とは

各県連盟の派遣団や参加予定者を対象に、大会参加に向けた準備に必要な情報を提供するを目的として発行します。大会までに数回の発行を予定し、毎号、最新の情報を提供していきます！大会のウェブサイトなどで公開しますので、大会への準備に活用してください。

目次

■大会概要 開催にあたって・・・1 大会目的・・・2 大会テーマ・・・2 ワッペンデザイン・・・2 大会日程・・・2 参加費・・・2	■生活・サブキャンプ・・・3 生活設備 食事 ■大会の各地域・・・3 ■輸送・・・4	■参加申込・・・5 申し込み 隊の編成 大会運営スタッフ 参加費 ■神石高原町・・・6
--	--	--

大会概要

名称：第19回日本スカウトジャンボリー
(19th NIPPON SCOUT JAMBOREE: 19NSJ)
会期：2026年8月4日(火)～10日(月)
6泊7日
参加者：8,000人
会場：広島県・神石高原
仙養ヶ原に広がるキャンプ場を含むテーマパーク「神石高原ティアガルテン」と隣接するゴルフ場「カントリーパーク仙養」とその周辺を会場とします。



一般社団法人神石高原町観光協会提供

開催にあたって

日本スカウトジャンボリーは、全国のスカウトと指導者、そして海外からの参加者を交え、班制教育と各種の進歩制度と野外活動など、スカウト教育の基本を重視した真のスカウト活動をおし、「ちかい」と「おきて」の実践を促進させる機会として、また、ジャンボリーならではのプログラムに参加することにより、新たな発見や感動を体験するとともに、スカウト同士や友情の絆を結び、海外からの参加者との交流を通じて、国際感覚を高揚させ、世界平和を考える機会を提供するなど、青少年の自己成長を促すための我が国スカウト運動最大の教育イベントとして4年を周期に開催しています。

同時に、日本連盟としては、大会全体をとおしスカウト運動が取り組むべき課題や将来への展望を検証する機会として捉え、青少年の現在と将来に係わりの深い課題を取り入れたプログラムを地域社会や関係組織・諸団体と一体となって展開し、本運動の果たす役割や具体的な活動内容を国内外の社会に広くアピールし、スカウト運動の一層の確立を図る契機とも捉えています。

ジャンボリーとは
ボーイスカウトのキャンプ大会で、一つの国または地域の、国際的・世界的規模で開かれるものです。
人種・宗教・言語の違いを超えて、広くスカウトの交流と親善を深めるために開催されています。日本スカウトジャンボリーは1956年から、4年に1度開催されています。

19th NIPPON SCOUT JAMBOREE

1

人と地球に
よりよい未来を

指導者・ 大会奉仕スタッフ向け情報



そなえよつねに
ボーイスカウト

地区別派遣隊数・大会奉仕スタッフ数

日本連盟から関東ブロックへの割り振りを経て、神奈川連盟からは12ヶ隊の派遣を予定します。
2025年度の初期登録人数にて各地区へ按分しました。

地区	川崎	横浜	みなと	湘南	県央	西湘	合計
派遣隊数	2	2	3	1	2	2	12
人数	80	80	120	40	80	80	480

大会奉仕スタッフは各地区派遣隊数×10名の選出を必ずお願いします。
スタッフ申込みが規定人数に未達の場合、日本連盟より派遣隊数の削減指示を受けます。

会場の利用や生活に関して

生活地域（サブキャンプと呼ぶ）

- 会場内にサブキャンプA～Dの4か所のサブキャンプが開設される。
- 神奈川の派遣隊はサブキャンプA～Dに分散される。現時点ではどのサブキャンプ所属になるか未定。
- ゴルフコース内に1区画あたり600㎡を基準に割り当て
ティーグラウンド、グリーン、バンカー、池は立ち入り禁止(フェンスが設置される)
- テントに制限はないが、芝生を傷めぬように。穴を空ける杭はNG。
ゲートなど設置時は要注意
- 炊事用燃料は薪。立ちかまどは可であるが、台に乗せる土がない
(大会本部での検討課題)。また、灰/炭を芝生に落とさない工夫が必要。
- ナタは使用不可ではないが、なるべく薪割り機利用を検討のこと※
大けが発生しても中央救護所では対処不可。
- 照明用のガス燃料は使用を控える(ガス缶処分ができない)
- 飲料水は1人あたり6ℓ/1日(事前訓練会から節水を心掛け)。
汚水はサイトで残材等を取り除いて、汚水枡に流し込む

緑字：「ジャンボリーの生活と活動」の章で記載分

- シャワーは会場内に2か所集中設置。男子スカウト、女子スカウト、
男性指導者、女性指導者の4区画で1か所あたり96口（身障
者用のシャワーもあり）
- シャワー・洗面用の水は農業用水を浄水して1人あたり24ℓ/1
日の換算。高原特有の気候で朝夕は涼しいので、各隊にてシャ
ワー利用しなくても衛生を保てる方法も検討願います。
- 個人車両を駐車するスペースはありません
- サブキャンプ内の参加者交流となるような共通したプログラムを各サ
ブキャンプで運営してもらう予定。これまでジャンボリー大集会に協
力してもらったブロックごとの演技は行わず、閉会式でサブキャンプご
と演技を検討中
- 県連旗の旗手スカウト、代表スカウト選出のお願いを派遣隊にさせ
ていただきます。

参加申し込みに関して（派遣隊、スタッフ）

スケジュール

【参加予定申込み】

- ～2025/10/18(土) 予定申込み（各団→地区申請期日）
- ～2025/10/29(日) 地区内にて参加者人数調整、地区→県連申請期日
- ～2025/11/19(水) 参加費の予納金納入期日 各団→地区（日連10,000円/人+県連10,000円/人）
- ～2025/11/24(月) 参加費の予納金納入期日 地区→県連

【参加確定申込み】

- ～2026/3/15(土) 確定申込み（各団→地区申請期日）
- ～2026/3/22(日) 地区内にて参加者人数調整、地区→県連申請期日
- ～2026/3/31(土) 参加費の残金納入期日 各団→地区（日連50,000円/人+県連68,000円/人）
- ～2026/4/ 6(月) 参加費の残金納入期日 地区→県連

【提出書類】

- 派遣隊参加：神奈川様式①派遣隊（〇〇第〇〇団）
- スタッフ参加：様式C大会運営スタッフ（〇〇地区）
- 派遣団本部員参加：様式D派遣団本部スタッフ（〇〇地区）

様式A 統括表（〇〇地区）

- 派遣隊参加：神奈川様式①派遣隊（〇〇第〇〇団）
- 様式B 派遣隊（神奈川派遣隊第〇隊〇〇地区）
- スタッフ参加：様式C大会運営スタッフ（〇〇地区）
- 派遣団本部員参加：様式D派遣団本部スタッフ（〇〇地区）

申し込み時の参加者変更について

- ・ 予定申込から確定申込、確定申込から大会当日までに参加者の入替えは可能ですが、人数が減った場合の予納金や参加費の返金はありません。

指導者の途中交代・スタッフの遅参/早退に関して

神奈川県連盟では全日程参加を基本とします。やむを得ない理由に限り、以下のルールの範囲内にて遅参/早退を可とします。

		入場	退場
派遣隊の指導者	隊長の途中交代はなし、副長・副長補は2人1組で途中交代あり	8/4	8/10
県連派遣団本部スタッフ	県連役員および事務局職員等（遅参・早退あり）	8/2	8/11
大会運営スタッフ	ローバースカウト、指導者、県連盟、スカウトクラブ会員等（遅参・早退あり）	8/2	8/11
大会運営スタッフ(専門部会員)	日本連盟が要請する各分野における専門家（遅参・早退あり）	8/1	8/12

派遣隊の指導者

- 隊長の途中交代はありません
- 副長、副長補は2人1組での途中交代を可とします。
途中交代は8/7を基本とし、その移動手段は神奈川県連盟で検討します。他日の場合は、自前で移動手段を手配。参加費は別途定めるものとします。会場内外に自家用車の留め置きは不可。
- JR福山駅から会場近くまでの路線バス運行を日連にて調整中

県連派遣団本部スタッフ、大会運営スタッフ

- 大会スタッフは途中交代という概念はなく、遅参/早退扱いとなります。日本連盟参加費は参加日数に関係なく一律。神奈川県連盟派遣費は別途定めるものとします。また、奉仕部署は希望通りの配属とならない場合があります。
- 8/7に遅参/早退する時の移動手段は、神奈川県連盟で検討します。他日の場合は、自前で移動手段を手配。参加費は別途定めるものとします。ただし、会場内外に自家用車の留め置きは不可。
- JR福山駅から会場近くまでの路線バス運行を日連にて調整中

スタッフの移動に関して

県連派遣団本部スタッフ、大会運営スタッフの移動

往路8/1発：新幹線

- 日連大会本部と別途調整となります。

往路8/2発：新幹線

- 移動手段は神奈川連盟で手配します。
- 経路は、新横浜駅、小田原駅を出発駅として新幹線で福山駅まで移動。福山駅からは貸切バスで会場入ります。
- 8/2昼食は各自持参してください。

往路8/3夜発：貸切バス

- 移動手段は神奈川連盟で手配します。
- 県下12カ所から出発する派遣隊の貸切バスに乗車していただきます。
- どのバスに乗車するかは事前ヒアリングして調整いたします。

復路8/11発：新幹線

- 移動手段は神奈川連盟で手配します。
- 復路は8/11昼発とし、新幹線を経由して21時頃に小田原駅・新横浜駅に帰着予定
- 新幹線乗車前に入浴(汗を流す程度)を計画中
- 8/11昼・夕の食事・弁当は支給します。

復路8/12発：新幹線

- 日連大会本部と別途調整となります。

資材輸送に関して

現時点で確定していること

- ・ JR貨物コンテナは19NSJでは使用しません。



JR貨物コンテナ
(使用しません)

候補①

派遣隊のバスと同様に、8/3夜に神奈川発。8/4朝に会場到着で
貨物トラックを使用する

候補②

JITBOXを利用する
(派遣隊ごとの台数、集積場所などは方針決定後、調整)



JITBOX

その他の課題

復路に新幹線利用の場合、個人装備を新幹線に持ち込めるか？

横浜カラーチーム・県央カラーガード隊向け案内

参加形態について

- 今後、全体行事の演技出演グループの募集がかかりますので、その公募に横浜/県央カラーが応じていただきます。
- 演技や練習がない時間帯において、ベンチャースカウトは述記のベンチャー向けプログラムへの参加を可能とします。ローバースカウトは大会奉仕スタッフ同様に大会運営奉仕を可能とします。

これを基本方針として、9月末までに日本連盟と調整をしていきます。

神石高原でお待ちしております

